



平成28年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成27年6月26日

上場取引所 東

上場会社名 DCMホールディングス株式会社
コード番号 3050 URL <http://www.dcm-hldgs.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員

(氏名) 久田宗弘

問合せ先責任者 (役職名) 財務統括部長

(氏名) 熊谷寿人

TEL 03-5764-5214

四半期報告書提出予定日 平成27年7月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第1四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第1四半期	112,953	4.5	5,927	8.8	5,838	10.3	3,415	12.8
27年2月期第1四半期	118,233	6.4	6,500	27.8	6,505	23.7	3,915	20.9

(注) 包括利益 28年2月期第1四半期 4,534百万円 (13.6%) 27年2月期第1四半期 3,990百万円 (8.8%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
28年2月期第1四半期	25.11			
27年2月期第1四半期	28.32			

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		%
28年2月期第1四半期	361,982		160,262			44.3
27年2月期	349,991		157,071			44.9

(参考) 自己資本 28年2月期第1四半期 160,262百万円 27年2月期 157,071百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年2月期	円	円	円	円	円
28年2月期		10.00		10.00	20.00
28年2月期(予想)		10.00		10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
第2四半期(累計)	226,000	0.5	11,500	2.3	11,300	2.2	6,700	1.5	49.26
通期	439,100	1.9	18,000	8.3	17,700	8.9	10,200	13.2	74.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年2月期1Q	139,808,949 株	27年2月期	139,808,949 株
期末自己株式数	28年2月期1Q	3,745,753 株	27年2月期	3,787,006 株
期中平均株式数(四半期累計)	28年2月期1Q	136,044,685 株	27年2月期1Q	138,240,418 株

(注)自己株式数には、従業員持株ESOP信託口の所有する当社株式が含まれております。

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記載は、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9
商品別売上情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策、金融政策を背景に緩やかな回復基調が見られましたが、新興国の成長鈍化、欧州情勢による景気下振れリスクなど、先行きについては不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、円安による物価上昇や消費者の節約志向などにより個人消費の回復は遅く、また業態を超えた販売競争もあり、依然として厳しい経営環境にあります。

このような状況のもと、当社グループでは、新規出店については7店舗、退店については4店舗を実施いたしました。これにより当第1四半期連結会計期間末日現在の店舗数は562店舗（DCMカーマ151店舗、DCMダイキ159店舗、DCMホームマック252店舗）となりました。

販売面においては、3月は昨年の消費税増税前の駆け込み需要の反動で日用消耗品を中心に需要は大きく落ち込みましたが、DCMブランド商品については、チラシ掲載やテレビCMなど販促強化に取り組んだ効果もあり、販売が好調に推移しました。また、4月以降については、気温の上昇と共に園芸用品やレジャー用品が好調に推移しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における営業収益は1,129億5千3百万円（前年同期比95.5%）、営業利益は59億2千7百万円（前年同期比91.2%）、経常利益は58億3千8百万円（前年同期比89.7%）、四半期純利益は34億1千5百万円（前年同期比87.2%）となりました。

また、(株)カーマ、(株)ダイキ、(株)ホームマックは、平成27年3月1日付けで商号をDCMカーマ(株)、DCMダイキ(株)、DCMホームマック(株)に変更いたしました。当社の社名である「DCM」と事業会社が持つ地域ブランドを融合させ、事業会社名及び店舗名に「DCM」を冠し、今後は「企業ブランド」「商品ブランド」「店舗ブランド」を統一したナショナルブランドとして全国展開を進めてまいります。

なお、セグメントごとの業績については、8ページ「セグメント情報等」をご覧ください。

(主要商品部門別の状況)

園芸・エクステリア部門

園芸用品は、期間を通して天候や気温に恵まれたことで、DCMブランド商品の植物や用土、除草剤などの販売が好調に推移しました。エクステリア用品は、昨年の消費税増税前の駆け込み需要の反動もあり、物置などの販売は伸び悩みました。その結果、売上高は243億5千2百万円となりました。

ホームインブルーメント部門

混合栓や浄水器、高圧洗浄機などの家庭用高額商品の販売については、昨年の消費税増税前の駆け込み需要の反動もあり伸び悩みましたが、DCMブランド商品の作業用品や安全靴などの販売が好調に推移しました。また、5月は気温が高めに推移したこともあり、夏物の作業衣料や網戸関連商品の販売が好調に推移しました。その結果、売上高は203億9千8百万円となりました。

ホームレジャー・ペット部門

カー用品や自転車の販売については、昨年の消費税増税前の駆け込み需要の反動もあり伸び悩みましたが、ゴールデンウィーク期間は天候に恵まれ、レジャー用品は好調に推移しました。その結果、売上高は169億6千1百万円となりました。

ハウスキーピング部門

DCMブランド商品のフライパンやスリッパ、圧縮袋などは、販促に取り組んだ効果もあり販売が好調に推移しましたが、日用消耗品については、昨年の消費税増税前の駆け込み需要の反動により需要は大きく落ち込みました。その結果、売上高は279億3千4百万円となりました。

ホームファニシング部門

カーペットや組立家具などの高額品の販売については、昨年の消費税増税前の駆け込み需要の反動もあり伸び悩みましたが、DCMブランド商品の床材や枕などの販売が好調に推移いたしました。その結果、売上高は85億8千7百万円となりました。

ホームエレクトロニクス部門

5月は気温が高めに推移したこともあり、扇風機やエアコンなどの季節商品の販売が好調でしたが、昨年の消費税増税前の駆け込み需要の反動もあり、調理家電、照明器具などの販売は伸び悩みました。その結果、売上高は81億8千万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産残高は、当年5月31日が金融機関休業日であったため現金及び預金が増加したことや、季節的要因により商品在庫および売掛金が増加したことなどから、資産合計は前連結会計年度末に比較して119億9千万円増加し、3,619億8千2百万円となりました。

負債残高は、季節的要因や金融機関休業日の影響などにより買掛金や借入金が増加したことなどから、負債合計は前連結会計年度末に比較して88億円増加し、2,017億2千万円となりました。

純資産残高は、配当金の支払いや四半期純利益の増加などから、純資産合計は前連結会計年度末に比較して31億9千万円増加し、1,602億6千2百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期の連結業績予想につきましては、平成27年4月10日の決算短信発表時に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱いの適用)

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成27年3月26日)を当第1四半期連結会計期間より適用しております。なお、当実務対応報告適用初年度の期首より前に締結された信託契約に係る会計処理については、従来採用していた方法を継続するため、当実務対応報告の適用による四半期連結財務諸表への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,137	18,109
受取手形及び売掛金	4,117	7,302
リース投資資産	2,356	2,331
商品	82,759	85,194
繰延税金資産	1,892	961
その他	6,054	6,431
流動資産合計	111,317	120,331
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	173,826	175,217
減価償却累計額	96,538	97,267
建物及び構築物(純額)	77,287	77,950
土地	75,515	75,556
リース資産	9,759	10,869
減価償却累計額	1,460	1,599
リース資産(純額)	8,299	9,269
建設仮勘定	2,989	2,727
その他	28,549	29,296
減価償却累計額	22,037	22,633
その他(純額)	6,511	6,662
有形固定資産合計	170,603	172,166
無形固定資産		
のれん	2,550	2,490
借地権	6,177	6,192
ソフトウェア	3,281	3,247
その他	203	237
無形固定資産合計	12,211	12,167
投資その他の資産		
投資有価証券	9,918	11,361
敷金及び保証金	40,922	41,084
繰延税金資産	1,120	974
長期前払費用	2,885	2,925
その他	1,073	1,032
貸倒引当金	61	61
投資その他の資産合計	55,859	57,316
固定資産合計	238,674	241,651
資産合計	349,991	361,982

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	59,052	64,513
短期借入金	26,800	42,000
1年内返済予定の長期借入金	21,109	20,989
リース債務	249	269
未払法人税等	4,488	1,244
繰延税金負債	3	7
賞与引当金	2,390	1,494
ポイント引当金	435	435
その他	18,664	14,808
流動負債合計	133,195	145,763
固定負債		
長期借入金	39,908	34,690
リース債務	9,142	10,153
繰延税金負債	913	1,227
再評価に係る繰延税金負債	207	188
退職給付に係る負債	60	63
資産除去債務	1,426	1,446
長期預り金	5,228	5,201
その他	2,837	2,984
固定負債合計	59,725	55,956
負債合計	192,920	201,720
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	41,603	41,603
利益剰余金	107,515	109,571
自己株式	2,390	2,374
株主資本合計	156,728	158,800
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,265	3,357
繰延ヘッジ損益	6	12
土地再評価差額金	1,928	1,908
その他の包括利益累計額合計	343	1,461
純資産合計	157,071	160,262
負債純資産合計	349,991	361,982

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
売上高	116,745	111,422
売上原価	81,147	76,149
売上総利益	35,598	35,272
営業収入		
不動産賃貸収入	1,487	1,531
営業総利益	37,086	36,804
販売費及び一般管理費	30,585	30,876
営業利益	6,500	5,927
営業外収益		
受取利息	64	60
受取配当金	46	50
為替差益	49	87
補助金収入	106	73
その他	93	71
営業外収益合計	359	342
営業外費用		
支払利息	342	394
その他	11	37
営業外費用合計	353	432
経常利益	6,505	5,838
特別利益		
固定資産売却益	-	0
特別利益合計	-	0
特別損失		
固定資産除売却損	94	257
減損損失	-	20
その他	16	14
特別損失合計	111	292
税金等調整前四半期純利益	6,394	5,545
法人税、住民税及び事業税	2,227	1,078
法人税等調整額	251	1,051
法人税等合計	2,479	2,129
少数株主損益調整前四半期純利益	3,915	3,415
四半期純利益	3,915	3,415

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,915	3,415
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	69	1,092
繰延ヘッジ損益	5	6
土地再評価差額金	-	19
その他の包括利益合計	75	1,118
四半期包括利益	3,990	4,534
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,990	4,534
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	DCMカーマ	DCMダイキ	DCMホームマック				
営業収益							
外部顧客への売上高	34,909	29,556	53,661	105	118,233	-	118,233
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	1	0	12,658	12,660	12,660	-
計	34,909	29,557	53,662	12,764	130,894	12,660	118,233
セグメント利益	2,057	1,156	3,282	2,221	8,718	2,217	6,500

(注)1. その他は、DCMホールディングス㈱における取引等です。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間の取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	DCMカーマ (注)4	DCMダイキ (注)4	DCMホームマック (注)4				
営業収益							
外部顧客への売上高	34,689	26,584	51,444	235	112,953	-	112,953
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	1	1	13,480	13,483	13,483	-
計	34,689	26,585	51,446	13,715	126,437	13,483	112,953
セグメント利益	1,803	1,030	3,181	1,330	7,345	1,418	5,927

(注)1. その他は、DCMホールディングス㈱における取引等です。

2. セグメント利益の調整額 1,418百万円には、セグメント間取引消去 1,426百万円、その他8百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 当第1四半期連結累計期間より、商号変更に伴い報告セグメントの名称を変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報についても、変更後の名称で記載しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき事項はありません。

4. 補足情報

商品別売上情報

(単位:百万円、%)

事業部門	前第1四半期 連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)		当第1四半期 連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)		(参考) 前連結会計年度 (自平成26年3月1日 至平成27年2月28日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
ホームセンター事業						
園芸・エクステリア	23,734	20.3	24,352	21.9	66,816	15.7
ホームインブルーブメント	20,241	17.3	20,398	18.3	77,878	18.3
ホームレジャー・ペット	17,264	14.8	16,961	15.2	64,159	15.1
ハウスキーピング	31,047	26.6	27,934	25.1	116,412	27.5
ホームファニッシング	8,801	7.6	8,587	7.7	32,305	7.6
ホームエレクトロニクス	10,180	8.7	8,180	7.3	45,551	10.7
その他	5,474	4.7	5,006	4.5	21,588	5.1
合計	116,745	100.0	111,422	100.0	424,713	100.0

(注) 1. 記載金額には消費税等は含まれておりません。

2. ホームセンター事業の部門別の主な取扱商品は、次のとおりであります。

部門	取扱商品
園芸・エクステリア	園芸用品、大型機械、農業・業務資材、植物、エクステリア、屋外資材 住宅設備他
ホームインブルーブメント	作業用品、金物、工具、塗料、補修、木材、建築資材他
ホームレジャー・ペット	カー用品、スポーツ、玩具、自転車、レジャー、ペット用品他
ハウスキーピング	日用消耗品、文具、ダイニング・キッチン、バス・トイレタリー、 ヘルスケア・ビューティケア、食品他
ホームファニッシング	インテリア、寝具、家具収納他
ホームエレクトロニクス	家庭電器、冷暖房、電材・照明、AV情報機器他
その他	テナント植物、テナントペット、灯油、工事費、サービス料他